

同窓会長挨拶

会長 西脇 金一郎 (昭33)

去る6月12日、大支部のご協力により、平成16年度定期総会が別府・亀の井ホテルにて、全国各地より68名のご参集の中で行われましたが、私こと3月末で任期満了(2期4年)でありましたが、会則の一部変更により、もう1期2年の続投を命ぜられることになりました。やり残した仕事をやり遂げろとのことですので、浅学非才ではありますが、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様をご存知のとおり、平成16年4月より国立大学法人長崎大学がスタートし、自律と競争が要求される大学に変貌せざるを得なくなり、また、念願の薬学部6年制の制度に伴い、新たな希望と新たな問題を抱える時代が到来してきました。このような環境変化の中で国立大学が自立の道を進むためには、同窓会を中心とした各界のバックアップが必要になってきたわけです。先般、中島憲一郎薬学部長より各位へ「長崎大学薬学部教育研究活性化基金募金趣意書」が届いたと思いますが、何はともあれ長薬同窓生としての思いを1口でも多くご支援いただきたくお願い申し上げます。

長薬同窓会の運営にあたり、今後の課題としましては以下の6点があります。各員各位のご協力ご支援無しには解決しませんのでよろしくお願い申し上げます。

(1) 会費未納・滞納者対策

現在、会員(4139名)の3割を占める会費未納・滞納者を如何に減少させるかが、同窓会運営を円滑に継続させるためには避けられない課題です。その多くの要因は若年者層にあります。先輩・後輩意識の寸断傾向が同窓会無関心派として広がって来てはしないかと危惧しています。督促の繰り返しで頑張ります。

(2) 女性会員、若年会員の同窓会帰属意識の高揚
最近の支部活動を見ていますと、逐次、平成卒同窓生が増加してきています。大変喜ばしいことですが、残念なことには同窓生の3分の2を占める女性の参加が出席者の半数に満たないことです。多数派を占める女性が強くならなければ、同窓会も活性化しないのではないのでしょうか。

(3) 休眠支部対策

長薬同窓会支部は平成16年4月現在、22支部が登録されています。しかし現在全く活動していない休眠支部が8支部あります。特に長崎県内では島原、諫早、五島が休眠状態です。そこでこの度、五島支部を長崎グビロ会と統合することに理事会にて決定しました。休眠支部地域の同窓生にとっては長薬同窓生の絆が細くなり、大変不幸なことと思います。早期の活性化をお願いしたいところです。

また、一方では関東支部では東北地方の、近畿支部では北陸地域同窓生に参加呼びかけをしています。全国的に無所属同窓生をなくしたいと思います。

(4) 同窓会名簿のCD化

1年前に同窓会名簿のCD化の提案がなされました。今年は名簿発行の年ですが、今回は残念ながら間に合いません。実のところ、事務局のスタッフ不足、名簿データ化システムの遅れ等が原因です。もう少しお待ちください。

(5) 長薬成立100周年記念事業会作成のビデオ・DVD映像の頒布

8月下旬から頒布開始しました。貴重な映像が満載です。

尚、制作を担当した当時(1985年)のスタッフは以下の通りです。(敬称略)

杉井道泰（ディレクター），
河野信助（戦前編解説），
古川 淳（戦後編解説）
馬詰久子（ナレーション），
木下敏夫（編集・録音），
大串 伸（映像）
中島憲一郎（タイトル），
平山倫代（箏曲），
長大薬学部合唱団（校歌）

(6) 後任の育成

私こと同窓会長として後任の育成を怠ったことが，この度の留任になったことを深く反省しています。支部におかれても若返り，女性の活用を含めて，後任の育成には十分のご配慮をお願いします。

残る任期中は精一杯頑張りますので，これまでに増して各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。